

プレコンセプションケアの普及等に向けた取組の強化

性と健康の管理の推進や妊娠・出産に関する希望の実現を

こども政策の主要テーマと位置づけ、取組を抜本的に強化

来年度、4つの新規・拡充事業を要求

プレコンセプションケア
の普及

思春期における
健康相談

不妊治療等の
アクセス支援

卵子凍結モデル事業
による環境整備

今年を「元年」と位置づけ、“プレコン”の普及を更に推進し
若い世代の「みんな、自分のために、当然に」していく

“プレコン”（正式にはプレコンセプションケア）

性や健康に関する正しい知識を持ち、
妊娠・出産を含めた将来設計等を考えて健康管理を行う



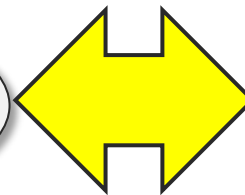
令和8年度概算要求

来年度、全国の学校や職場などで合計1万人以上の規模
を対象に、セミナー等の情報提供・普及啓発を展開

思春期のこどもが**安心して**医療機関(産婦人科等)で
健康相談できる環境をつくる事業の立ち上げを要求

思春期における性と健康課題への対応

生涯にわたる健康と活躍
に**極めて重要**



情報不足や不安で受診
の機会を**先延ばし**にし
てしまうことも多い

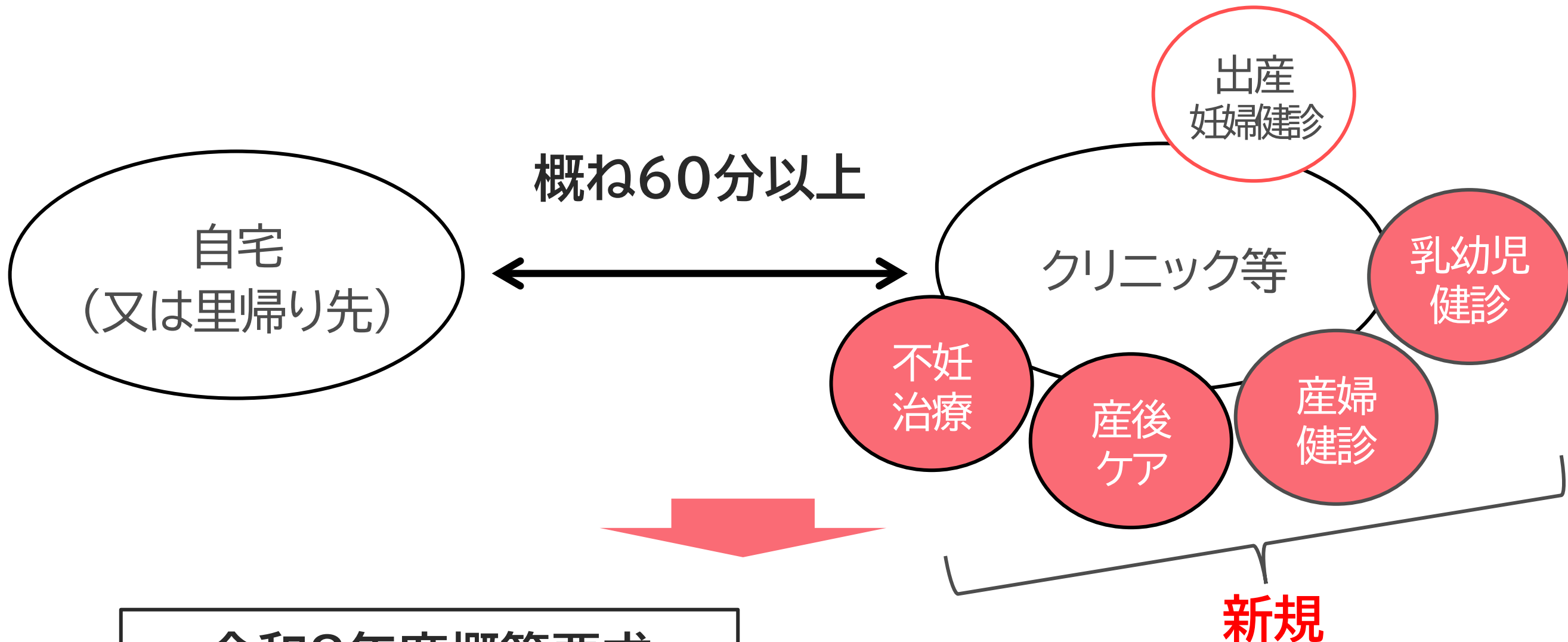


令和8年度概算要求

1. オンライン相談の実施など、**地域の産婦人科クリニックなどと連携して相談体制を整備**
2. 思春期のこどもたちが相談に行きやすい体制の整備
 - ・ こどもやその保護者向けの「**チェックリスト**」等の**提供**を開始
 - ・ 医療従事者にも、思春期のこどもに寄り添った対応ができるよう**手引きを提供**

住んでいる場所にかかわらず、安心して不妊治療等

が受けられるよう、交通費等の補助の創設を要求



令和8年度概算要求

来年度から、交通費(実費)の一部を助成
(公共交通機関・自家用車いずれも可)

来年度より新たに、妊孕性低下への選択肢の一つである

卵子凍結の環境整備を開始

卵子凍結

正しい知識を
持った上での選択が大事

新規要求①

自治体による、卵子凍結に
関する情報提供事業を展開

正しい知識をもって
検討できる環境の整備

卵子凍結による妊孕性温存の
課題検証も重要

新規要求②

「卵子凍結」と凍結卵子を用い
た「生殖補助医療」の費用の
一部を助成

データを収集して卵子凍結
の課題を検証